




アライン  
負の遺産のない未来へ

第12期

# A-LINE

## Environmental Management Report



 株式会社  
A-LINE

発行日：2024年3月1日  
対象期間：2022年10月1日～2023年9月30日



登録事業者  
エコアクション21  
認証番号0013035

# CONTENT～目次～

1.	ご挨拶
2.	環境経営方針 〈環境経営理念〉 〈環境保全への行動指針〉
3.	会社概要 1) 事業者名及び代表者氏名 2) 所在地 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先 4) 事業内容 5) 事業の規模
4.	認証・登録の対象範囲
5.	事業の紹介
6.	環境経営組織図及び役割・責任・権限表
7.	主な環境負荷の実績
8.	環境経営目標及びその実績
9.	環境経営計画の取組結果とその評価
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟
11.	緊急事態対応訓練
12.	代表者による全体の評価と見直し・指示
13.	これまでの環境活動の紹介
14.	おわりにあたって



## 1. ご挨拶

株式会社A-LINEは全国のアスベストゼロ、アスベスト専門業社ナンバーワンを目指し、より良い未来を作るべく、日々精進しております。

健康被害を引き起こすアスベストを扱っているからこそ、環境問題と真摯に向き合うためにも全社一丸となりエコアクション21への取り組みを始めました。

今後、社内だけではなく、社外への発信にも力を入れていきたいと思っております。

## 2. 環境経営方針

### <環境経営理念>

人々の暮らしと環境について真剣に取り組むからこそ与えられる「安心」があります。

そのために地球温暖化への対応や地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

地球環境保全への貢献を実現し、より素晴らしい環境・未来を子どもたちに残すことが出来るように全社員が一丸となって継続的に改善活動に取り組む企業を目指します。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や条例等の遵守に加え、自主基準を定めて運用、評価します。



2. 省エネ活動の為に電力・ガソリン等の燃料消費に伴うCO2削減に取り組みます。



3. 廃棄物の発生抑制・削減及びリサイクルを推進します。



4. 水資源を有効活用し、節水・排水量の削減に努めます。



5. 材料等のグリーン購入を推進します。



6. 環境問題の発生の防止に努めます。万一、環境問題が生じた場合は環境負荷を最少化にするようにします。



7. 全社員に環境負荷軽減活動の周知を図り、環境問題の重要性の自覚、環境に対する意識向上を図ります。



8. ステークホルダーへの情報開示と積極的なコミュニケーションに努め、相互理解と協力関係の強化に努めます。



制定日： 2023年4月1日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

A 株式会社 A-LINE  
代表取締役 田畑 晃一

### 3. 会社概要

更新日: 2024年3月1日

#### 1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 A-LINE

代表取締役社長 田畑 晃一

#### 2) 所在地

〒591-8011

大阪府堺市北区南花田町52-1 (本社・倉庫)

〒134-0088

東京都江戸川区西葛西6丁目17-5

関寅ビル第3 8F(東京営業所)

※2026年4月までに開設

#### 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

■ 責任者 取締役本部長 徳永 智樹

■ 担当者 総務部 池内 知

■ 連絡先 TEL: 072-245-9960

FAX: 072-245-9961

#### 4) 事業内容

■ アスベスト工事一式

#### 5) 事業の規模

■ 設立 平成24年4月20日

■ 資本金 4,000万円

■ 売上高 19億5500万円(第12期 実績)

	本社	東京営業所	倉庫	合計
従業員数	25	3	無人	28
延床面積	261.74	108.24	287.67	657.65

### 4. 認証・登録の対象範囲

■ 登録組織名: 株式会社 A-LINE

■ 対象事業所: 本社、倉庫

■ 対象外: 東京営業所 2026年4月までに認証取得予定

■ 活動: アスベスト工事一式

### 5. 事業の紹介



石綿除去作業  
(レベル1吹付け材)



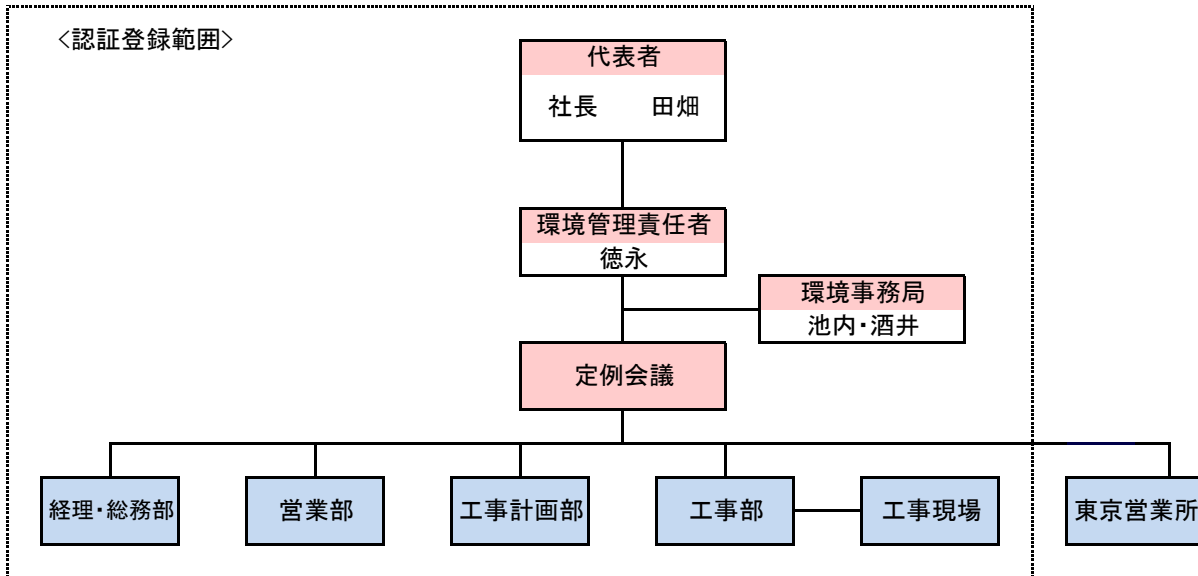
石綿除去作業  
(レベル2煙突断熱材)



集塵装置付き超高压水洗工法  
(レベル3対応工事)

## 6. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2024年3月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントに関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境事務局の統括</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境マネジメントシステムの実績を代表者へ報告</li> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境マネジメントシステムの方針、マニュアル、規程類の発行、改定管理</li> </ul>
定例会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>



## 7. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	50,623	35,882
廃棄物排出量 (一般廃棄物排出量)	kg	210	205
総排水量	m <sup>3</sup>	119	103

※二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の調整後排出係数(2017年度実績)  
 ※負荷の実績は工事現場を含む

## 8. 環境経営目標及びその実績

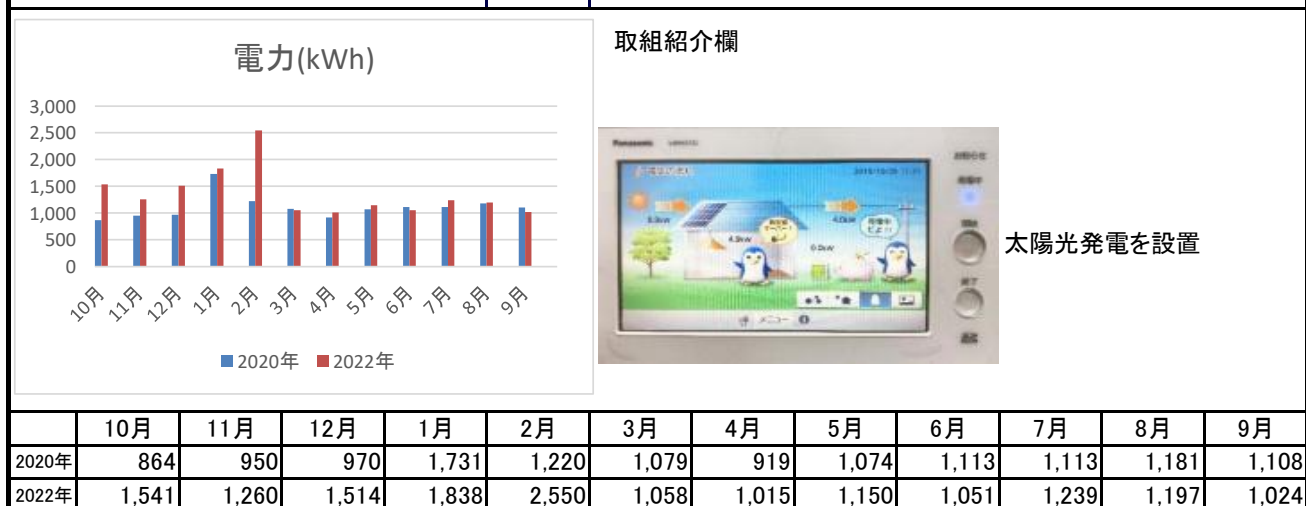
項目	年度	基準値 (基準年)	2022年		評価	2023年	2024年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,449	5,340	6,871	×	5,231	5,177
	基準年度比	2020年	98%	126%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	33,883	33,205	29,011	○	32,866	32,527
	基準年度比	2020年	98%	86%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	39,332	38,545	35,882		38,097	37,704
一般廃棄物の削減	kg	210	206	205	○	195	189
	基準年度比	2,020	98%	98%		93%	90%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	119	115	103	○	109	107
	基準年度比	2020年	97%	87%		92%	90%
グリーン購入の推進 環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

## 9. 環境経営計画の取組結果とその評価

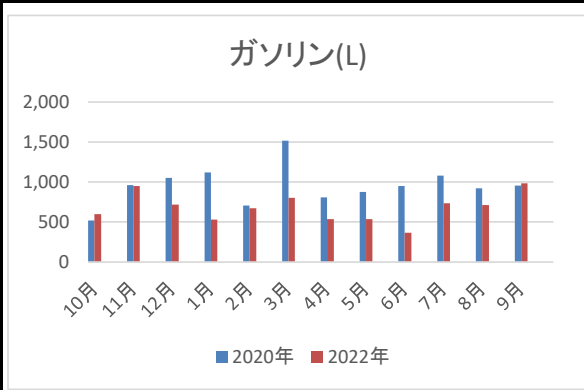
数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年を変更して2年目となりますが社内での稼働状況が増えたこと電力使用が増えたと考えられる。こまめな消灯や空調温度の適正化を行い節電に取り組む。他に削減できるものがないかも含め再度社内でも議論し、本年度は目標達成できるように全社員一丸となり取り組んでいきたい。
・空調温度の適正化(冷房27℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・使用していない部屋の空調停止	○	
・扇風機の併用	△	



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	超高压洗浄車の購入でトラックが1台増えたため、軽油の使用量は増えている。売上が少し下がったこともありガソリンの使用は減少。ただ各自の意識改革ができてきているので今後も現場への乗り合わせの徹底、各自エコドライブの徹底を全社員で周知し実施していきたい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的な移動	○	
・急加速・急停車の防止	○	

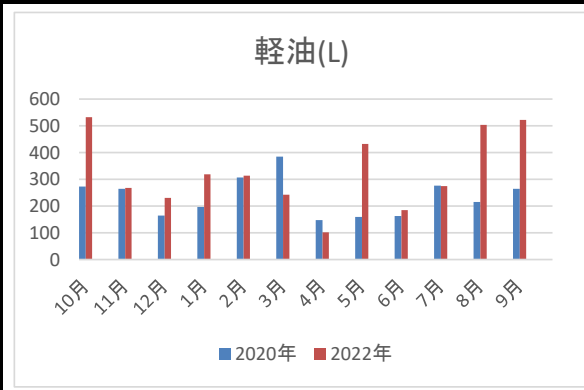


取組紹介欄



低燃費車の使用

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	522	960	1,050	1,122	707	1,519	809	875	948	1,080	924	958
2022年	599	952	717	528	670	801	534	539	369	734	711	985



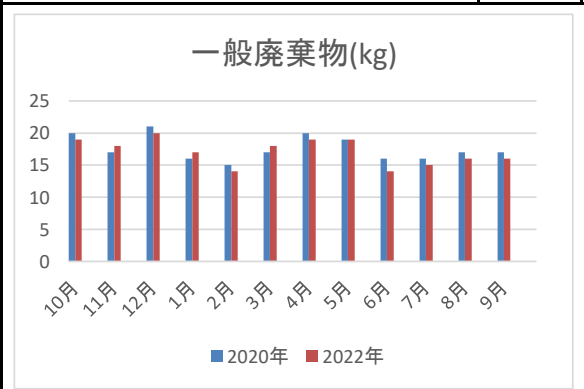
取組紹介欄

エコドライブ10のすすめを  
携帯し環境に配慮した運転を  
心がけている



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	273	264	164	197	307	385	148	160	162	276	215	265
2022年	532	267	231	319	313	243	102	433	184	275	503	523

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	ようやく分別意識は各自定着したと感じる。削減については検討の余地があるので各自意識を高めていき印刷ミスなど無いよう小さなことから積み重ねて廃棄物の削減に努めていく。
・分別の徹底	○	
・裏紙の利用	○	
・印刷物の削減(社内連絡等にLINE等を利用)	○	
・ゴミ箱の数量の削減	○	



取組紹介欄



裏紙の利用



分別用ゴミ箱の設置

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	20	17	21	16	15	17	20	19	16	16	17	17
2022年	19	18	20	17	14	18	19	19	14	15	16	16

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容																																							
数値目標		×	全体の水道使用量を減らせたことは評価したいと思う。こまめな努力が数字に出ると実感しました。引き続き声掛けを徹底しさらなる削減に努めていきたい。																																							
・節水トイレの設置		○																																								
・ウォーターサーバーの利用		○																																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">水道水</p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td></td> <td>13</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>0</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 50%;"> <p>取組紹介欄</p> <p style="text-align: right;">節水シールの貼付け</p> </div> </div>					10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	2020年	0	18	0	14	0	19	0	17	0	20	0	31	2022年		13	0	15	0	15	0	23	0	18	0	19
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																														
2020年	0	18	0	14	0	19	0	17	0	20	0	31																														
2022年		13	0	15	0	15	0	23	0	18	0	19																														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																														
2020年	0	18	0	14	0	19	0	17	0	20	0	31																														
2022年		13	0	15	0	15	0	23	0	18	0	19																														

グリーン購入の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・有害性の少ない資材の購入		○	引き続き総務部・工事部共に倉庫整理等を行い、在庫管理を徹底するようにした。結果目に見えて在庫量などの把握につながり余計なものを購入することが無くなった。そのため余分な在庫もなく倉庫等の管理もスムーズになった。
・省エネ性能の高い電気製品の購入		○	
・燃費のよい自動車の採用		○	
・事務用品グリーン購入		○	
<p>取組紹介欄</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"> </div> <div style="width: 55%;"> <p style="text-align: center;">グリーン商品の購入</p> </div> </div>			

環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化		○	工期厳守、作業ミス防止の徹底を行い環境に配慮した工事を行うようにしている。また、顧客からのクレームが無いよう協力会社と共に作業のクオリティを上げていく。今後も現場や周辺環境への配慮を怠らないように徹底する。
・作業ミスの防止		○	
・顧客クレーム削減		○	
・アスベストの飛散防止の徹底		○	
<p>取組紹介欄</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"> </div> <div style="width: 55%;"> <p>事務所内に大きなホワイトボードを設置し、工程等をわかりやすく可視化することにより工期厳守の徹底、さらにより効率的な工事を行えるようにする。</p> </div> </div>			



## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

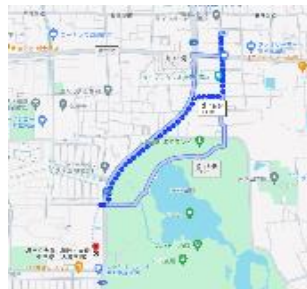
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。


適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物(廃石綿等)	○
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限	○
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者による始業、終業時のアルコールチェック等	○
労働安全衛生法	労働安全衛生規則・石綿障害予防規則	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出	○
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	○
顧客要求事項	品質管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## 11. 緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 地震発生時の避難経路の確認		
■実施日： 2023年8月4日	■実施場所： 本社および避難場所	
■参加者： A-LINEスタッフ	■実施内容： 避難経路の確認	
■評価：	手順書の変更の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
事前に調べて経路を確認していたため、スムーズに避難場所まで行くことができた		
■実施状況の様子		
<p>本社より一番近い指定避難所の大泉学園まで災害時を想定し、最短距離を徒歩にて移動しました。 また建物の状況確認などを行い災害時のリスク確認を行いました。 普段、通らない道も多かったので災害時を想定した事前準備の必要性を改めて感じました。 社員全員に災害時の集合場所として伝え、スムーズな安否確認ができるよう各自でも徒歩にて避難場所の確認を行ってもらうよう周知しました。</p>		

緊急事態の想定： 安全衛生協議会		
■実施日： 2022年11月5日	■実施場所： A-LINE大阪本社	
■参加者： ㈱A-LINE・協力業者	■実施内容： 災害時に現場で起こりうる事故・ヒューマンエラー	
■評価：	手順書の変更の必要性	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
事件事例を参考にし、災害時の事故を未然に防ぐために何が必要なかを改めて考える事ができた。		
■実施状況の様子		
<p>過去の災害時の事件事例を参考にし、災害時の事故を防ぐ為の手順や段取りを話し合いました。 上記話し合いを元にリスクを見積りそのリスクの大きさに基づいてリスクアセスメントの作業手順書を各現場事で作成し、手順書に基づき安全な作業を徹底する。協力業者も参加してもらい自社だけではなく協力業者の方にも確実に実施してもらうように話を進めていきました。</p>		

※工事現場に関しては、元請の安全衛生協議会等へ参加して緊急事態に備えています。

## 12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2022年9月30日

代表取締役 田畑晃一

エコアクション21の取り組みがようやく浸透してきたのか、電力以外は基準値を下回ることができずまずまずの結果を残せたと実感しております。  
今後も社員一丸となって、環境負荷減少への意識をしっかりと持ちながら取り組めるように日々積み重ねていきたいと思

います。  
そして、新しく入社した社員にもエコアクション21の取り組みをしっかりと伝え、活動を浸透させていこうと思

います。  
まだ成長中の弊社ですので、目標の事業規模に向け最低限の消費エネルギーの中で会社を成長させていき、  
今後も更なる会社の発展とともに全社一丸となり環境保全に全力で取り組んでまいり所存です。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## 13. これまでの環境活動の紹介

### 毎週木曜日 近隣清掃



会社周辺の清掃を就労支援の

一貫として行うことにしました。

毎週木曜日に

清掃活動を行ってもらっています。

## 14. おわりに

弊社では、地球環境や自然環境を次世代に残すための活動としてエコアクション21に取り組んで参りました。

省エネ製品を取り入れ、社員の省エネに対する意識向上もエコアクション21を取り入れる前とは全く違うように感じております。

今後も消費エネルギーのコストを抑え、環境保全活動を推進してまいります。